

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 藤木 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

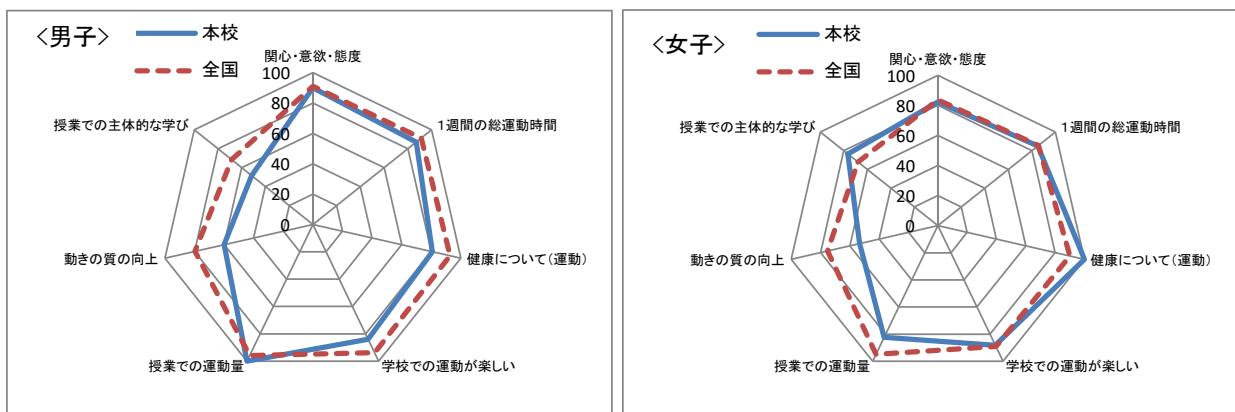
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

- 男女共に、多くの子が「運動やスポーツが好き」であり、1週間に60分以上運動やスポーツを行っている。
- すべての男子が「体育の授業で、たくさん運動して」おり、すべての女子が「運動やスポーツは大切」だと思っている。
- 自分なりの目標を立て、自分の動きの質が向上していることが実感できる、子どもたちにとって楽しくて、分かる体育科授業となるよう、授業改善が必要である。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 体力向上担当教員や体育主任を中心に、体育科授業に関する研修を計画的に実施し、体育科の授業改善により一層取り組んでいく。
- 「トライコーナー」や「なわとびチャレンジカード」の見直しなど、全校で、誰もがいつでも挑戦できる取組を検討する。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- 体育科の準備運動に「なわとびチャレンジタイム(毎時間5分程度)」を設定し、「なわとびチャレンジカード」の跳び方に挑戦する。
- 校舎内に「トライコーナー」を設け、新体カテストの全国平均に自由にチャレンジできるようにする。